

干し草を作れるように

6組 カイン ス イン

ミャンマーには日のあるうちに干し草を作
れということわざがあります。のうぎょうに

おいて、天気が良い時に草を干すことがで
きるので、そのきかいをのがさずに行動する

ことが大切です。だから、このことわざはチ
ャンスがあるうちにうまく利用すること、ま

たは有利なじょうけんやじょうきょうを利用
あることを意味します。

しかし、太陽はかかやかない場所では草を
干すことができません。そして同じように、

決して来ないチャンスをつかむことはできま
せん。この場合、それはチャンスをつかめな

い人のせいではありません。太陽の光がとど
かない場所に住んでいる人がたくさんいると

思います。なぜなら私もその一人だったから
です。

私はミャンマーの小さな村で生まれ育ちま
した。村人の70パーセントはしょく業として

のう業に従事します。私の家族も同じです。
祖父母は私たちのために暑い日も寒い日も休
まぎにのう場で働いていました。祖母は小学
校までしか勉強しませんでした。祖父は中学
校まで勉強しました。祖父は頭がよくてきん
べんな人でした。でも、まぎしかったので勉
強を続けることができませんでした。仕方が
なかつたので、大変だったのにのう業でいっ
しょうけんめい働きました。祖父は66さいで
亡くなりました。
先月、学校に行く途中、信号待ちの車の中
で祖父に似たおじいさんを見かけました。こ
の時祖父のことを思い出して、いろいろ考え
ました。もし祖父が日本で生まれていたら、
どんな人になっていただろうかと考えました。
前にのべたことわざも思い出して質問を持ち
始めました。どんなにかんばっても太陽の光
がとどかない場所では干し草を作れません。
日本ではいつも太陽がかがやいています。
作れる干し草の量は、干し草を作る人次第で

ち。つまり、日本はチャンスの国です。成功
するか失敗するかは自分次第です。日本は本
当にいい国です。

私の父はのう家で、母は高校の教師です。

母は教師だったので私は子供のころからいっ

しょうけんめい勉強しました。でも、村の学

校なので私が習いたいことは習えませんでした。

た。私はミャンマーの一番むぎがしい大学に

入りました。かたので、父と母はお金がかかった

にもかかわらず、私を最高の高校に通わせて

くれました。私は2020年の大学受験に合格し

ました。点数もよかったので、一番むぎがしい

い大学にも入れました。しかし、コロナウイ

ルスが出たので、大学が休校になりました。

しかたなく、大学に行ける時間を待っていました。

した。

2021年2月7日に軍部が国家権力をしょう

あくしました。ミャンマーのしょう来とともに

に私の夢は消えてしまいました。軍事どくさ

いせいけん下の大学には行かないと決めまし

た。母も仕事をやめましたので、家計のしゅ

う入がへりました。そこで私が働くことにし

ました。私の友達もみんな留学することにし

ました。

2022年6月に井内しよるの奨学金を受けて、20

22年8月に井内しよるの学生としてえらばれま

した。私は井内財団のおかげで日本で留学し

て勉強を続けられました。外国で生活するのは

大変ですが、2021年の時ほど大変ではありません。

私は日本に来たので干し草を作れる

ようになりましたが、ミャンマーのたくさん

の人たちはまだ作れません。

私は勉強に疲れた時、私の国のことを考え

ます。私の国を日本のように晴れた国にしたい

です。どんなに大変でも私の国のためにい

っしょうけんめいがんばります。晴れた日本

でたくさん干し草を作ります。そして、ミ

ャンマーの人たちも草を干せるように全力で

がんばります。